

「アートと環境の未来・山口」
YCAM 10周年記念祭

2013年10月21日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
作品展示

「walking around surround (ウォーキング・アラウンド・サラウンド) インスタレーション」

2013年11月1日(金)ー12月1日(日) 13:00ー18:00 火曜休み 入場無料
はりはり(山口県山口市道場門前2-3-8)

〈山口〉を聴き、音で〈山口〉を表現する

YCAMオリジナルワークショップから発展したサウンドインスタレーション

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、山口市内の風景を録音したサウンドによって表現する作品「walking around surround (ウォーキング・アラウンド・サラウンド) インスタレーション」を発表します。

本作は、山口市内で聴くことのできる生活音や環境音を予め録音し、それらをYCAMが開発したワイヤレススピーカーを用いて空間上に構成していくことで、海と森と市街地がコンパクトに集まった山口市らしいサウンドスケープ(音の風景)を立ち上げるというインスタレーションです。今春から市内の小学生とともに、商店街や沿岸部、山間部など市内の様々な場所で録音作業をおこなっており、山口が持つ多様な地域性はもちろんのこと、季節や天候の移ろいも含んだ、スケールの大きいサウンドスケープが表現されます。

YCAMと子どもたちとのコラボレーションのもと、山口市内の自然や生活を音で表現する本作は、10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉を体現するプロジェクトのひとつです。この機会にぜひご参加ください。



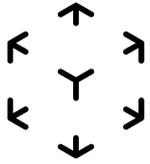
(上) 山口市秋穂でおこなわれた録音の様子
(下) 2012年7月に開催した同名のワークショップの様子 (撮影: 田邊アツシ)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



音とは？聴くとは？—walking around surroundの取り組み



ワークショップ「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」の様子（撮影：田邊アツシ）

YCAMは、2008年から「walking around surround」というオリジナルワークショップを実施しています。このワークショップは、〈音を聴くこと〉の再認識をテーマに、独自に開発したワイヤレススピーカーを空間上に構成。そこからさまざまな音を発生させることで、新しい音づくりの楽しみを見つけていくというものです。

開発以来、国内外の様々な教育機関で展開してきましたが、10周年記念祭のアーティストック・ディレクターで音楽家の坂本龍一とともに、このワークショップをベースとした新たなワークショップを開発しました。それが昨年、市内の小学校で実施した「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」です。

「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」

10周年記念祭のプレイベントとして実施されたこのワークショップは、山口市の海、森、市街地を代表する3つの小学校に通う、9名の小学生を対象におこなわれました。参加者は事前にそれぞれにとって身近な場所でフィールドレコーディング（野外での録音）をおこなっており、ワークショップでは坂本のアドバイスを受けながら、収録した音源を空間に構成。普段、同じ山口市に住んでいても、なかなか触れ合う機会の少ない参加者たちが、音を通じて互いの生活への理解を深めながら、風光明媚な自然環境を保つ山口を想起させる豊かなサウンドスケープ（音の景色）を立ち上げていきました。

今回の「walking around surround インスタレーション」は、このワークショップの成果を踏まえて発表されるものです。

■ walking around surround



日常的には深く考えることのない人間の聴覚の特徴を、レクチャーやエクササイズを通じて再発見するとともに、音楽制作においてこれまで軽視されていた「空間」に着目。独自に開発したワイヤレススピーカーシステムをもちいて、「時間」と「空間」を等価なものとしてコンポジションをおこない、「音による創造性」への新たなアプローチを切り拓いていくワークショップ。山口市内の小学校のほか、国内外の教育研究機関や文化施設で実施している。

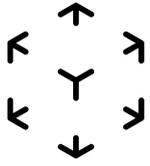
■ walking around surround —山口の音に耳を傾ける

日時：2012年7月31日

会場：大殿小学校

特別講師：坂本龍一（音楽家）

対象：嘉年小学校、秋穂小学校、大殿小学校の生徒9名



街、海、山一音で感じる山口の風土



フィールド・レコーディングの様子

今回発表する「walking around surround インスタレーション」は、前述のワークショップ「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」の中でおこなわれるサウンドスケープの構築を、来場者が自由に体験できる参加型のインスタレーションです。

変化し続けるサウンドスケープから立ち上がる〈山口の景色〉

本作の制作にあたって、YCAMでは今春から市内の小学校6校の生徒約30名を対象に、それぞれにとって身近な場所の音を録音するフィールドレコーディングのワークショップを継続的に実施してきました。山に出没する熊を避けるための鈴の音や、えびの養殖場の水を攪拌する水車の音、そして商店街にあるさまざまな店舗の音など、録音された音源は100種類を超え、そのいずれもが地域の産業や気候などの特徴を捉えたものになっています。

今回の会場となる、古民家を改装した市内のオルタナティブスペース「はりはり」には、これらの音源を再生するワイヤレススピーカーが8個設置されています。スピーカーの位置や、発生する音源は来場者が容易に変更することができるようになっており、来場者はスピーカーから聴こえる音を手がかりに、空間内に音を構成し、来場者オリジナルのサウンドスケープを立ち上げていきます。

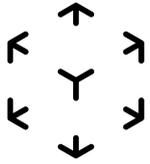
サウンドスケープを構成する音はどれも、山口で録音された山口らしい音でありながらも、他の音との位置関係などによってそのイメージを一変させます。音を通じて山口の情景に思いを馳せるとともに、新しい側面を見つけることになるでしょう。

■ 参加小学校

- ・阿知須小学校
- ・生雲小学校
- ・白石小学校
- ・柚木小学校
- ・鑄銭司小学校
- ・大海小学校

■ はりはり

山口市中央商店街の近隣に位置するオルタナティブスペース。作品展示やライブイベントはもちろんのこと、特定の形式にとらわれない多種多様なイベントが催されている。



現代社会を生き抜く知恵と創造性を獲得する—YCAM オリジナルワークショップ



2005年から開催されているオリジナルワークショップ「ケータイ・スパイ・大作戦」の様子

YCAMでは「walking around surround」のほかにも、情報化社会における自由と秩序の制度設計について携帯電話を駆使して考える「ケータイ・スパイ・大作戦」、ゴムひもを使って身体と環境との対話を促す「感覚アスレチック」など、今日におけるメディアをとりまく状況、コミュニケーションや身体、そして表現の在り方について考える実践的なワークショップを多数ご用意しています。

これらのワークショップは山口市内の小中学校を中心に、国内外の教育機関や文化施設などで実施しているほか、希望者に対してはYCAMでも随時実施しております。

申込方法や個別のワークショップについての詳しい情報はYCAMの公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ycam.jp>

開催概要

「walking around surround (ウォーキング・アラウンド・サラウンド) インスタレーション」

2013年11月1日(金)ー12月1日(日) 13:00ー18:00 火曜休み

入場無料

はりはり (山口県山口市道場門前2-3-8)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

平成25年度文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]